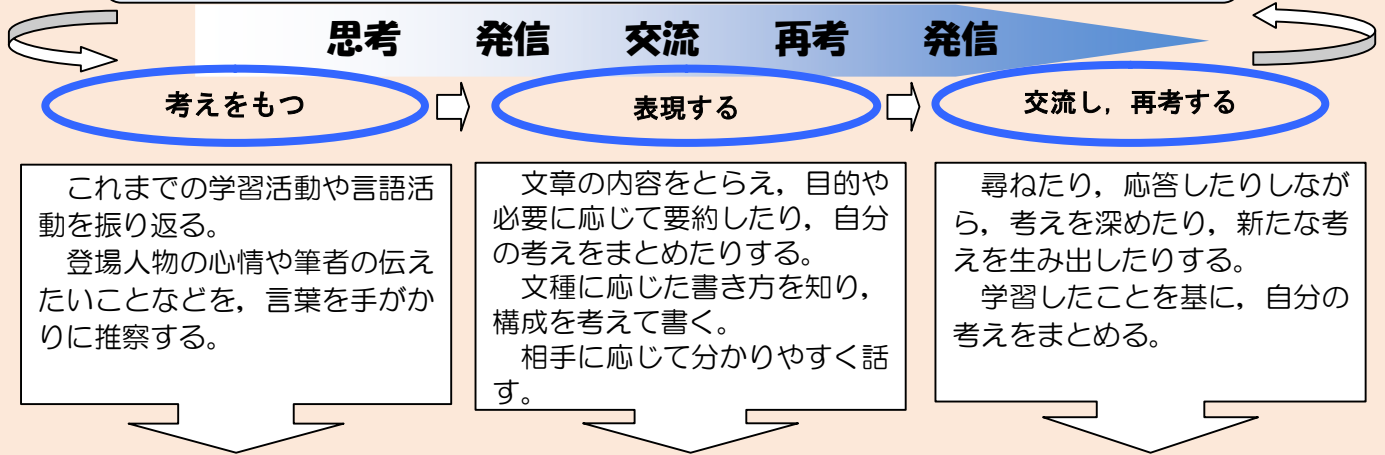


教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

言語活動の充実

基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に取り入れた学習活動



単元における指導例 【単元名】 目的に応じた伝え方を考えよう 第5学年

<p>報道スタッフが番組作りの過程で感じている驚き、疑問及び願いについて、12段落を中心に読み取り、自分の考えをもつ。</p>	<p>報道スタッフが、知って考えてほしいと願っていることについて、自分の考えを書く。</p>	<p>書いた文章を読み合ったり、これまで学習したことを基にしたたりしながら、今後の番組作りにどのように生かしていくか「振り返り」を書く。</p>
---	--	--

<目指す姿>

<p>12段落が、番組作りの必要な過程がまとめられている段落であることをとらえ、本文全体を通して筆者が伝えなかったことについて考える姿。</p>	<p>本文全体を読み、叙述を手がかりにして、番組を作っている人の願いを自分なりに考えて表現する姿。</p>	<p>ニュースの作り手の立場から自分の考えをもち、意見交流を通して「工夫して発信しよう」の学習に生かそうとする姿。</p>
--	---	---

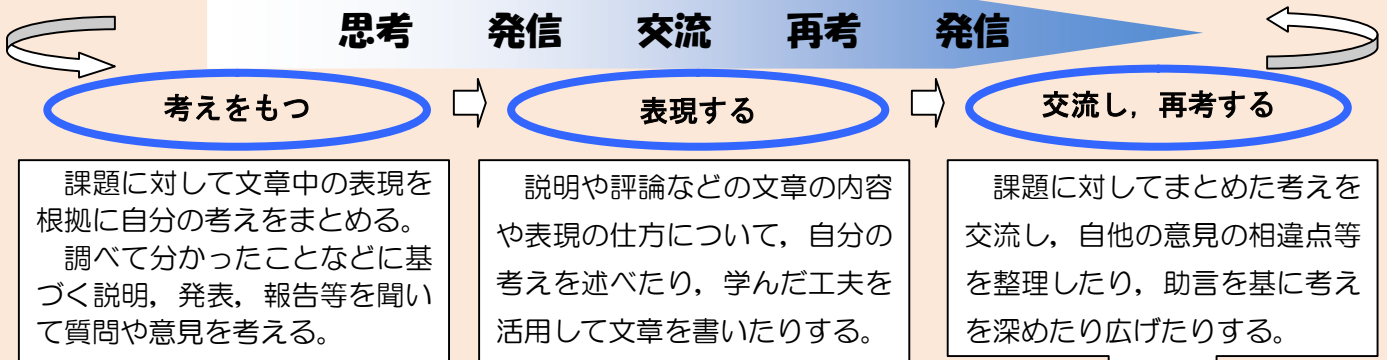
<p><十分満足> 番組を作っている人の考えや願いを12段落と文章全体の表現とを関連させながら読み取る。 <おおむね満足> 12段落の役割に気付き、筆者が本文全体を通して伝えなかったことについて読み取る。 <努力を要する状況の手だて> 12段落の文章が前の段落に対応していることを気付かせる。</p>	<p><十分満足> 叙述を基に、自分の問題としてとらえ、主体的に行動してほしいという願いについて書いている。 <おおむね満足> 読み取ったことを生かし、番組を作っている人の願いについて、自分の考えを書いている。 <努力を要する状況の手だて> 本文を再読させ、「知ってほしいこと」を確認させる。</p>	<p><十分満足> 次の学習に向けた自分の考えや目標を、これまでの学習を振り返り、具体的に書いている。 <おおむね満足> 読み取ったことを基に、次の学習にどのように生かすか自分の考えを書いている。 <努力を要する状況の手だて> 板書や発表を振り返らせ、番組の作り手として大切なことを考えさせる。</p>
---	---	--

教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

言語活動の充実

基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、社会生活に必要とされる発表、案内、報告、編集、鑑賞、批評などの言語活動を取り入れた学習活動



単元における指導例 【単元名】論理をとらえよう 学習材「考えるイルカ」第2学年

筆者の考えを進める上での工夫について、18段落を中心に読み解き、自分の考えをまとめる。

筆者の説明の仕方や文章の構成の仕方を生かして、課題作文を書く。

書いた文章を互いに読み合い、筆者の工夫を参考にした部分などについて話し合い、検討する。

<目指す姿>

筆者の論理の展開の仕方に着目し、例示の仕方や考察の進め方に表れている筆者の意図について自分なりの考えをまとめる姿。

筆者の論理展開の仕方を生かし、多様な考えができる事柄について、立場を決め論理的な文章を書く姿。

相手の立場や考えを尊重し、互いの論理の展開の仕方がどう生かされたかを検討して、自分の考えを深める姿。

<十分満足>

18段落における例の役割などを的確に読み取り、論証の仕方から筆者の表現の意図について考え書きまとめている。

<おおむね満足>

例の挙げ方など筆者が考えを進める上でどのような工夫をしているかを書きまとめている。

<努力を要する状況の手だて>

14段落における漁師の例の役割を参考にさせる。問題提起や順序性を表す表現等に注目させる。

<十分満足>

類似の例や根拠を補強する例を挙げて説得力のある文章を書いている。

<おおむね満足>

説明をするときに書き手の意図を分かりやすく表現する言葉を適切に使い、説得力のある文章を書いている。

<努力を要する状況の手だて>

文章の構成を見直したり、意見にふさわしい説明や具体例を加えさせたりする。

<十分満足>

例の挙げ方を始め、筆者の論証の工夫を活用して書いた文章のよさを積極的に見つけ、自分の表現を練り直している。

<おおむね満足>

筆者の論証の工夫を参考にした部分について意見を述べたり助言をしたりしている。

<努力を要する状況の手だて>

条件に合っていると思う表現にサイドラインを引き、それを基によさを指摘させる。

教科目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

言語活動の充実

必要な情報を的確に記録する学習活動、それらを比較・関連付け・総合させながら再構成する学習活動、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことにより互いの考えを深めていく学習活動。

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

観察、体験、資料等を通して、社会的事象と出会い、学習問題について考える。
観察、調査、資料等を効果的に活用しながら調べ、分かったことを整理する。

学習問題について調べ考えたことを、書いたり話したりしながらまとめる。
社会的事象の意味や特色について考えたことを様々な方法で表現し、発表する。

社会的事象の意味や特色について考えたことを他者と交流し考えを整理する。他者の考えと自分の考えを比較・関連させながら自分の考えを深め、社会的な見方や考え方を養う。

単元における指導例【小単元名】伝統的な工業のさかんな地域 第4学年

伝統工芸品を観察し、県内には様々な伝統工芸品があることを知り、学習問題について予想したり、調べる方法を考えたりする。取材したことや資料（パソレット等）を活用しながら、学習問題について調べ考える。

職人が昔からの技を受け継ぎ、守り続けようとしていることについて、ノートに書いてまとめる。職人の工夫や努力、特色ある地域の人の生活に見られる特色やよさ等について、短冊カードに表現する。

伝統的な工業のさかんな地域に住む人々の生活に見られる特色やよさについて話し合う。他者の考えを聞きながら、同じ点や異なる点をメモする。話し合いを基に、自分の考えを見つめ直す。

<目指す姿>

伝統的な工業が盛んな地域の概要や人々の生活の様子に問題意識をもち、資料等を活用しながら自分の思いや考えをもつ姿

観察、調査、資料等に基づいて自分の考えをまとめ、相手の反応を見ながら、自分の思いや考えを表現する姿

社会的事象の特色やよさについて、共通点や相違点を考えながら伝え合い、自分の考えを深める姿

<十分満足>

問題意識をもち、資料等を効果的に活用しながら調べ、理由が明確な自分の考えをもっている。

<おおむね満足>

学習問題を把握し、資料等を進んで活用しながら調べ、自分の考えをもっている。

<努力を要する状況の手だて>

具体的な資料を提示しながら学習問題を把握させ、必要な資料等から自分の考えをもたせる。

<十分満足>

調べた過程や結果を生かしながら、分かったことや考えたことを工夫して表現している。

<おおむね満足>

調べたことを生かしながら、分かったことを工夫して表現している。

<努力を要する状況の手だて>

調べて分かったことを確かめさせ、それらを生かしながら表現させる。

<十分満足>

他者の考えとの共通点や相違点について考え、適切に判断し、自分の考えを深めている。

<おおむね満足>

他者の考えとの共通点や相違点を意識しながら、自分の考えを深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えを伝えるとともに、他者の良いところを見つけさせ、自分の考えと比べさせる。

教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

言語活動の充実

地図を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動【地理的分野】
 歴史的事象について考察・判断しその成果を自分の言葉で表現する学習活動【歴史的分野】
 社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えを論述したり、議論などを通して考えを深めたりする学習活動【公民的分野】

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

観察、見学、資料等を通して、社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色について、観察、調査、見学、資料等を適切に活用しながら調べ考え、分かったことを整理する。

社会的事象の意義や特色について多面的・多角的に考えたことをまとめる。観察、調査、見学、資料等を基に、追究し考察したことを様々な方法を用いて表現する。

社会的事象の意義や特色について調べ考えたことを他者と交流する。他者の考えと比較・関連付けることにより、自分の考えを見つめ直し、社会的な見方や考え方を深める。

単元における指導例【単元名】 武家政治と東アジア（歴史的分野） 第1学年

中世について年表や地図を活用しながら概観し、鎌倉・室町時代の特色についてイメージをとらえ、単元を通じた学習課題を設定する。取材したことや資料等を活用しながら追究し、考えたことを整理する。

歴史的事象（政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など）について調べたことをノートやカードに書いてまとめる。歴史的事象について、時代の特色や背景となる世界の歴史を関連させながら構造化して表現する。

単元を通じた学習課題について、学習内容を比較・関連付けながら再度時代を大観し、自分の言葉でまとめたことを発表し合う。他者の考えを聞きながら、共通点や相違点をメモし、自分がまとめた内容を見つめ直す。

中世の日本について、いくつかの理由や根拠を挙げながら、自分なりの考えや意見をもつ姿

歴史的事象について調べたことを基に、内容や伝え方を意識し、自分なりに考えや意見を表現する姿

中世の日本を大観したことについて、互いの考えや意見を伝え合い、異なる意見も意識しながら自分の考えを広げる姿

<十分満足>

学習課題を自ら適切に設定し、資料等を効果的に活用しながら調べ、考えたことを根拠を明確にして整理している。

<おおむね満足>

学習課題を適切に設定し、資料等を活用しながら調べ、考えたことを整理している。

<努力を要する状況の手だて>

具体的な資料を提示し学習課題を設定させ、必要な資料等から分かったことを整理させる。

<十分満足>

情報を適切に選択して効果的に活用し、分かったことを考察しながら工夫して表現している。

<おおむね満足>

情報を適切に選択して活用し、分かったことを工夫して表現している。

<努力を要する状況の手だて>

調べた情報を選択させ、分かったことを確かめ、それらを生かしながら表現させる。

<十分満足>

他者の考えとの共通点や相違点について考察し、適切に判断しながら自分の考えを深めている。

<おおむね満足>

他者の考えとの共通点や相違点を理解し、自分の考えに生かして深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えを伝えるとともに、他者との共通点や相違点を見つけさせ、自分の考えと比べさせる。

小学校 算数

教科目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

言語活動の充実

数学的な用語や記号を用いて、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

与えられた状況や情報を理解し、事象を数学的にとらえ、課題を解決する過程を筋道を立てて考える。

具体物や言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、自分の考えを根拠を明確にしながら分かりやすく表現する。

他者の説明を、自分の考えとの共通点や相違点を考えながら聞き、伝え合い、自分の考えに生かす。

単元における指導例 【単元名】 平行四辺形と三角形の面積(台形の面積) 第5学年

台形を分割したり変形したりして、台形の面積を求める方法を考える。

図と式を用いて、台形の面積の求め方を説明する。

多様な求め方を理解し、四角形の面積は底辺と高さを利用すれば求められることに気付く。

<目指す姿>

既習の図形に変形して求積する方法について、自分なりの考えをもつ姿。

<十分満足>

既習の求積方法を基に、等積変形や倍積変形をして多様な方法で考える。

<おおむね満足>

既習の求積方法を基に、自分なりの考えをもつ。

<努力を要する状況の手だて>

分割して求積するようなヒントカードを用意して、具体的な操作活動を通して、既習の図形の面積の和で求められることに気付かせる。

相手の反応を見ながら、図と式を照らし合わせて自分の考えを説明する姿。

<十分満足>

図形の特徴や性質を基に、根拠を明確にしながら、図と式を用いて分かりやすく説明する。

<おおむね満足>

既習の図形に変形して、求め方を説明する。

<努力を要する状況の手だて>

式に表されている数が図のどの部分の長さを表しているのか、ノートに順序よくまとめてから説明するようにさせる。

他者の発表を聞いて、求め方を比較し、自分の考えに生かす姿。

<十分満足>

多様な求め方の共通点や相違点を整理することができ、台形の面積の公式を作ろうとする。

<おおむね満足>

底辺と高さに着目して、多様な求め方の共通点を見付ける。

<努力を要する状況の手だて>

それぞれの求め方を示す図を使い、既習の図形の底辺と高さに当たる部分を色鉛筆でなぞらせるなどして意識させる。

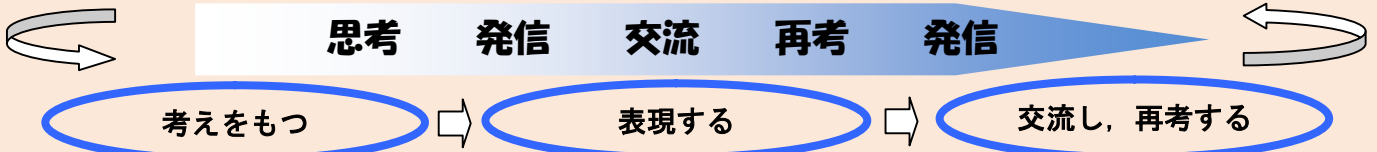
中学校 数学

教科目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

言語活動の充実

数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う学習活動



帰納的に考えたり、類推したりして問題の解決方法や結果を予測する。
既習事項を用いて、数や図形の性質などを見いだしたり、問題の解決方法を考えたり判断したりする。

数学的な表現（言葉や数、式、文字、図、表、グラフなど）を用いて、分かりやすく自分の考えを表現し伝え合う。
思考の過程や判断の根拠を明確にし、筋道立てて表現し伝え合う。

見いだした結果を基に、新しい課題を見いだしたり、解決したり、身の回りの事象に置き換えて考えたりする。
自分の考えと他者の考えの相違点を比較しながら考えをまとめる。

単元における指導例 【単元名】 平行線と角（三角形の内角の和（証明）） 第2学年

結果を導くために、根拠となる性質を探し出す。
その根拠と性質を組み立てながら証明の構想を練る。
角を切って一つの頂点に集めた図に着目し、平行線の錯角や同位角を用いることができることに気付く。

図の頂点や角に色ペンなどでかき込みながら、根拠を基に結論に至るまでの流れを筋道立てて説明する。
図だけではなく、式も使いながら説明する。
他の考え方との類似点や相違点を示しながら説明する。

自分の考えを相手に伝えることで、根拠や流れを再確認しながら深める。
相手の証明の方法を聞き、自分の方法と比較し、より効率的で分かりやすい方法に気付く。
本時の学習を振り返り、学習内容に意味付けをする。

<目指す姿>

これまで学習してきた内容から、課題解決のために根拠となる性質等を選別し、それを用いて自分の考えをもつことができる姿。

数学的な表現（言葉や数、式、文字、図、表、グラフなど）を用いて、筋道立てて自分の考えを表現することができる姿。

伝え合う活動や振り返る活動を通して、それぞれの考え方のよさに気付く、自分の考えをより深めることができる姿。

<十分満足>
必要な既習事項を選別し、それを用いて結論に至るまでの流れを考えることができる。
<おおむね満足>
既習事項を用いて、結論に至るまでの流れを自分なりにもつことができる。
<努力を要する状況の手だて>
操作活動を通して、切って移動した角が平行線の錯角と等しいことに気付かせる。

<十分満足>
図や式などを効果的に利用して、自分の考えを分かりやすく表現し伝えることができる。
<おおむね満足>
自分なりの表現方法を用いて、自分の考えを表現し伝えることができる。
<努力を要する状況の手だて>
着色や文字を付けるなどの工夫をした図を利用すると表現しやすくなることに気付かせる。

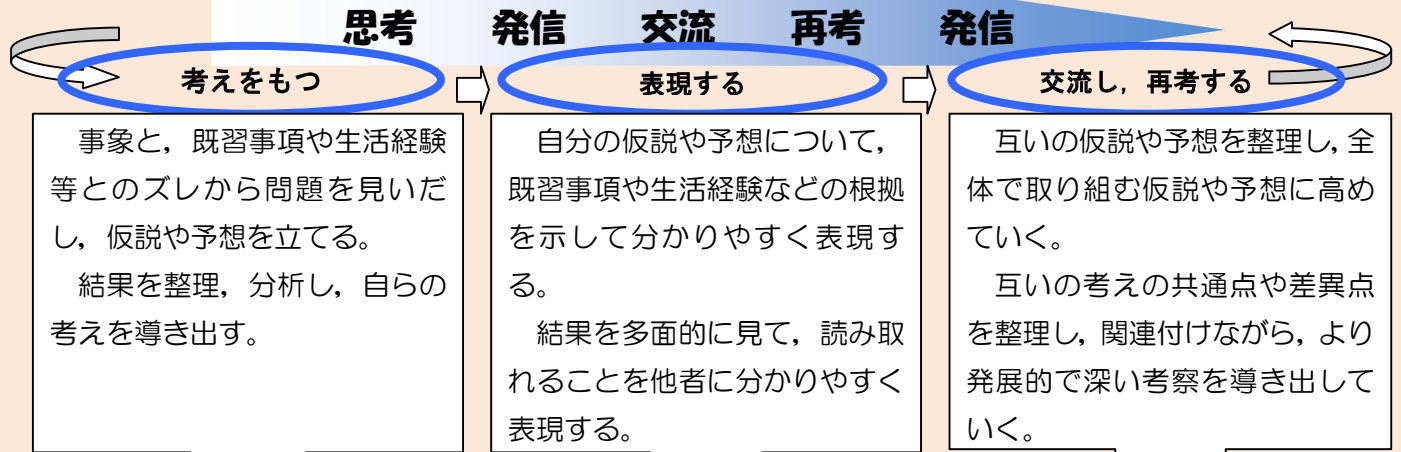
<十分満足>
発表を聞いて、それぞれの考え方のよさに気付く、自分の考えをより深めることができる。
<おおむね満足>
自分の考えと他者の考えの違いを比較し、自分の考えを修正することができる。
<努力を要する状況の手だて>
それぞれの考えのキーワードを記録し、違いに赤線を引かせ、自分の考えを見直させる。

教科目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物、現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

言語活動の充実

既習事項や生活経験から根拠のある予想を立てたり、結果を根拠に、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動



単元における指導例【単元名】 水の姿とゆくえ 第4学年

「水が沸騰しているときに出てくる泡を集めたときの様子」と「空気を集めたときの様子」との違いを明確にしながらか結果を整理する。

「袋の中の違い」「時間がたった時の袋の変化の違い」「ピーカーに残っている水の量の違い」などの視点から、泡の正体について自分の考えを記述する。

結果を根拠に、沸騰したときの泡の正体について互いの考えを述べ合い、「泡は空気ではない」ことや「水が姿を変えたもの」などの考察を導き出す。

<目指す姿>

両方の様子の共通点や相違点を複数の視点で比較しながら実験し、記述している姿。

沸騰したときの泡の正体について、複数の視点から総合的に判断し、自分の考えを記述している姿。

他の児童の考えに触れ泡の正体について、より多面的に考察し、判断しようとしている姿。

<十分満足>

共通点や相違点を複数の視点で比較しながら結果を整理し、予想や仮説の正否について考えをまとめている。

<おおむね満足>

共通点や相違点を複数の視点で比較しながら結果を整理している。

<努力を要する状況の手だて>

空気を集めた時の様子を手掛かりに結果を整理する視点を与える。

<十分満足>

結果を根拠に複数の視点から判断して自分の考えを記述している。

<おおむね満足>

結果を根拠に判断し、自分の考えを記述している。

<努力を要する状況の手だて>

空気と泡は同じか異なるかを考えさせ、その理由を結果から探そうに支援する。

<十分満足>

異なる考えが出たときに、結果を根拠に客観的にそれぞれの考えについて判断しようとする。

<おおむね満足>

それぞれの考えを比較しながら聞き、泡の正体について多面的に判断しようとする。

<努力を要する状況の手だて>

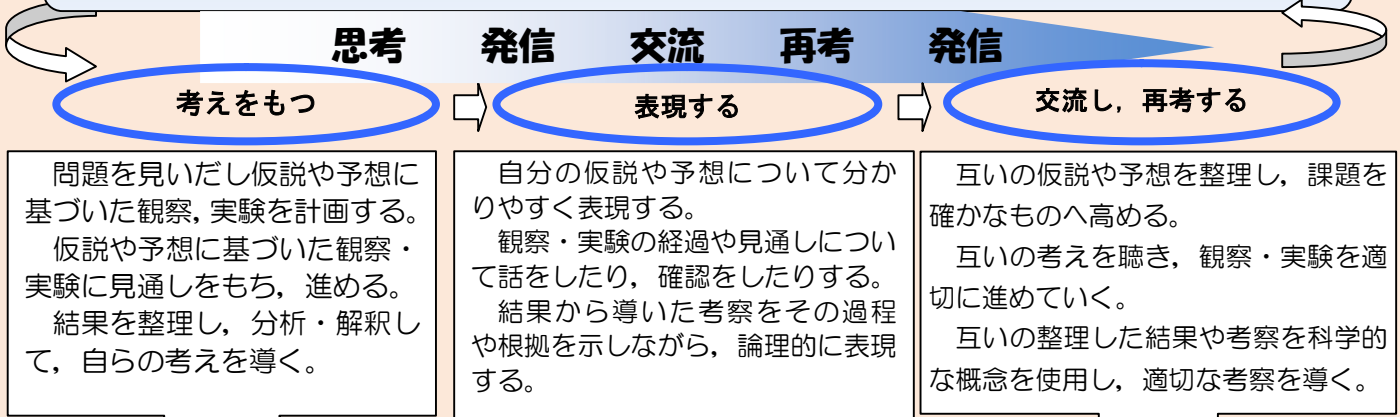
自分と同じ考えや、自分の考えとは異なるが納得できる考えを探しながら聞くように支援する。

教科目標

自然の事物・現象に進んでかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

言語活動の充実

十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設け、問題を見だし観察・実験を計画する学習活動や観察・実験の結果を分析解釈する学習活動、及び科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動



単元における指導例 【単元名】 身の回りの物質 第1学年

物質がいろいろな性質をもち、それを基に分類できることに着目し、結果を予想しながら自分なりに観察・実験計画を立てる。	自分が立てた観察・実験の操作や記録の仕方を整理し、見通しをもって話をし、併せて予想される結果をその過程にそって示しながら説明する。	観察・実験の操作や記録の仕方を他と調整しながら進める。さらに、互いの仮説や予想及び観察・実験結果を基に、科学的思考を深めながら、物質とその性質についてまとめる。
---	---	--

<目指す姿>

課題への仮説や予想を通して、観察・実験を計画し、結果を整理して自分の考えや意見をもつ姿。	仮説や予想を検証するための観察・実験の結果から、導いた考察を科学的根拠に基づき論理的に表現する姿。	自他の考えを聞き、違いやよさを認めながら科学的な思考に基づき、自分の考えを深めたり、修正したりする姿。
--	---	---

<p><十分満足> 物質の性質や特徴を基に、理由や根拠を挙げながら、自分の考えや意見をまとめている。</p> <p><おおむね満足> 物質がいろいろな性質があることを理解し、理由を挙げながら自分の考えをまとめている。</p> <p><努力を要する状況の手だて> 物質の性質や特徴を想起させ、自分の考えをまとめることができることに気付かせる。</p>	<p><十分満足> 実験の操作や記録方法等に見通しをもち、予想される結果にそって計画を進め、説明できる。</p> <p><おおむね満足> 実験の操作や記録方法等を見通しをもって計画をし、説明できる。</p> <p><努力を要する状況の手だて> 物質の性質にあった実験を行うことで、課題解決に結び付く結果を得ることに気付かせ、説明するよう助言する。</p>	<p><十分満足> 互いの考えを基に実験の操作や記録をし、課題解決に向けた考えをまとめることができる。</p> <p><おおむね満足> 実験や記録の結果を理解し、互いの考えの共通点や違いを指摘できる。</p> <p><努力を要する状況の手だて> 実験の結果から他者の考えのよさに気付かせ、自分の考えに生かすよう助言する。</p>
---	--	---

教科目標

外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

言語活動の充実

「話すこと」：与えられたテーマについて簡単なスピーチをする学習活動
 「読むこと」：話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえる学習活動
 「書くこと」：自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

聞き取ったり、読み取ったりしたことに対する自分の考えや感想をまとめる。与えられたテーマに基づいて自分が表現したい内容等について考える。

自分の考えや気持ち、事実などが聞き手や読み手に正しく伝わるように、語と語のつながり、文と文のつながりなどに注意して話したり書いたりする。

聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったり、感想や賛否の理由を述べ合ったりし、自分の考えや表現を見つめ直す。

単元における指導例 Multi Plus 3 わたしの町 (NEW HORIZON English Course 2) 第2学年

モデル文の読解を通して得たことを参考に、自分の考えや思いが伝わるように“My Town”というテーマで表現したい内容について考える。

モデル文を参考にしながら、与えられた条件に則し、聞き手が理解しやすい文章構成になるように工夫しながら自分の英文を表現する。

グループ内で互いに自分が作成した“My Town”の英文を発表し、感想等を述べ合い、それを基に自分の表現をさらによいものになるよう再考する。

<目指す姿>

条件に則し、与えられたテーマで、自分が表現したい内容について明確な考えをもつ姿。

文の構成や伝え方、また、聞き手のことを意識しながら自分の意見や考えを表現する姿。

友達の表現のよさを認め合い、友達からの感想等を自分の表現の再考に生かす姿。

<十分満足>

条件、テーマに基づき、自分が表現したい内容について明確な考えをもつことができている。

<十分満足>

文の構成や伝え方に十分な工夫が見られ、聞き手が分かりやすいように表現している。

<十分満足>

友達の表現のよさを認め、友達からの感想等を的確に捉え、自分の表現を再考している。

<おおむね満足>

条件、テーマに基づき、自分が表現したい内容を考えている。

<おおむね満足>

文の構成や伝え方を工夫して表現している。

<おおむね満足>

友達からの感想等を自分の表現の再考に生かしている。

<努力を要する状況の手だて>

課題の理解とともに、モデル文の構成を参考にしながら、自分の表現したいことを考えさせる。

<努力を要する状況の手だて>

モデル文を基に、聞き手に伝わるように、順序よく自分の考えを表現させる。

<努力を要する状況の手だて>

友達の表現のよさに気付かせ、友達のよいところを自分の表現に生かすよう助言する。

小学校 音楽

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

言語活動の充実

楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する学習活動

思考

発信

交流

再考

発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことの原因を、音楽の中から見付けて、自分なりの意見や感想をもつ。

聴き取ったことや感じ取ったことを、音楽を形づくっている要素にかかわること、曲想にかかわることなどに分けて整理したり、自分の好きな楽曲のよさを紹介文にまとめたりする。

曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素とのかかわり合いから感じ取ったことを、言葉などで表して意見を交換し、楽曲の特徴や演奏のよさの理解につなげる。

題材における指導例 【題材名】いろいろなひびきを味わおう 第5学年

複数の楽曲を全体にわたって聴き、想像したことや感じ取ったことなどをワークシートに記録する。

楽器の音色やリズム、速度、強弱、及び反復、問いと答えなどにかかわること、楽曲の固有な気分や雰囲気にかかわることに分類する。
自分の選んだ楽曲のよさを紹介文にする。

想像したことや感じ取ったことを、紹介文などで伝え合い、教師や友達と意見を交換する。
感じたことや気付いたことを再度聴いて確かめ、ワークシートに書いてまとめる。

<目指す姿>

楽曲を聴いて、曲想の違いや旋律の特徴などを感じ取り、自分なりの意見や感想をもっている姿。

聴き取ったことや感じ取ったことを、分類して整理したり、伝え方を意識して楽曲のよさを紹介したりする姿。

互いが感じ取ったことなどを伝え合うことによって自分の考えを広げ、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する姿。

<十分満足>

楽曲を聴いて、楽器の音色や旋律の特徴などを手掛かりにして、自分なりの意見や感想を明確にもっている。

<おおむね満足>

楽曲を聴いて、楽器の音色や旋律の特徴などに気が付き、自分なりの意見や感想をもっている。

<努力を要する状況の手だて>

演奏する楽器や特徴を聴き取りやすい部分を伝え、意欲をもたせるようにする。

<十分満足>

音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取って聴き、自分の言葉で具体的に表している。

<おおむね満足>

音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取って聴き、言葉で表している。

<努力を要する状況の手だて>

音色、リズム、速度などの要素や反復などの仕組みを具体的に示し、気付きを促す。

<十分満足>

互いに感じ取ったことを共有し、自分の考えを広げ、楽曲の特徴や演奏のよさについて理解を深めている。

<おおむね満足>

互いに感じ取ったことを共有し、楽曲の特徴や演奏のよさについて理解している。

<努力を要する状況の手だて>

伝え方の支援や他者の考えなどの補足を通して、互いの感じ取ったことを確認させる。

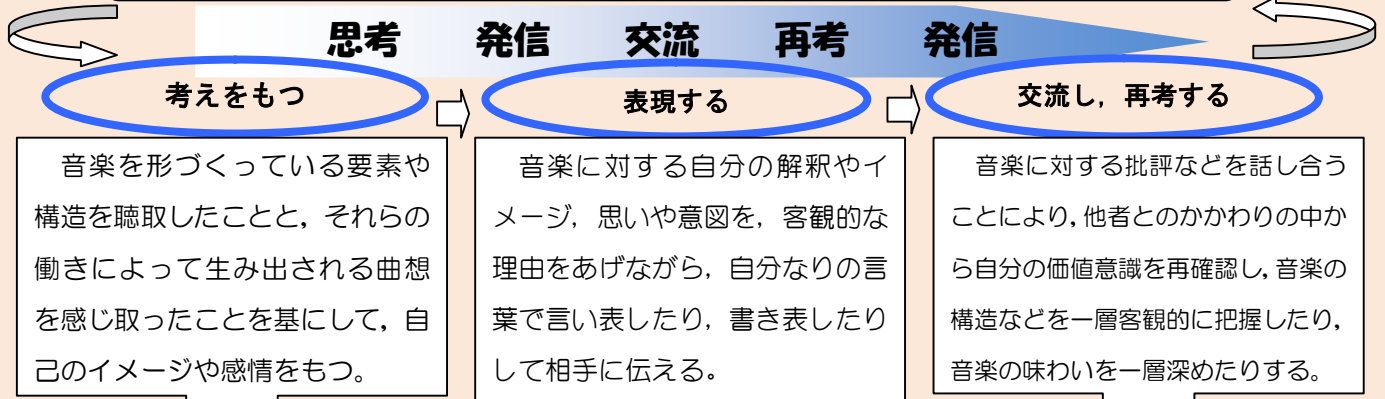
中学校 音楽

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

言語活動の充実

音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう学習活動



題材における指導例 【題材名】 オーケストラの豊かな表現を味わおう 第2学年

楽曲全体を通して鑑賞し、気付いた特徴や感じ取った曲想などをワークシートに自由にまとめる。

音楽に関する用語や記号などを用いたり、作曲の経緯や音楽の背景となる文化・歴史に触れたりしながら、感じ取ったことや考えを、自分なりの言葉を用いて記述する。

気に入ったところや他者に紹介したいところなどを発表し合い、共感したり共有したりする。

<目指す姿>

音楽を形づくっている要素や構造が生み出す曲想を感じ取り、自分なりのイメージや感情をもっている姿。

音楽のよさや美しさなどについて、音楽を形づくっている要素や構造などをあげながら、自分なりの感じ方や客観的な根拠、自分にとっての価値を述べている姿。

他者とのかかわりの中から自分の価値意識を再確認し、音楽の構造などを一層客観的に把握したり、音楽の味わいを一層深めたりしている姿。

<十分満足>

楽曲を聴き、演奏している楽器や旋律の変化などに気付き、自分なりのイメージや感情をもっている。

<おおむね満足>

楽曲を聴き、自分なりのイメージや感情をもっている。

<努力を要する状況の手だて>

演奏する楽器や特徴を聞き取りやすい部分を伝え、意欲を喚起するようにする。

<十分満足>

音楽を形づくっている要素や構造を具体的に感じ取って聴き、根拠をもって批評している。

<おおむね満足>

音楽を形づくっている要素や構造を感じ取って聴き、自分の言葉で記述している。

<努力を要する状況の手だて>

音色、リズム、速度、強弱などの音楽を形づくっている要素を具体的に示し、感じ取った曲想とのかかわりをとらえさせるようにする。

<十分満足>

他者の感じ取ったことや考えを理解し、音楽に対する自分の価値意識を再確認したり、広げたりしている。

<おおむね満足>

話し合いを通して、音楽に対する自分の価値意識を再確認している。

<努力を要する状況の手だて>

発表の補助や、他者の考えなどに補足を加えて理解させるようにする。

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、作りだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

言語活動の充実

感じ取ったことを話す、聞く、話し合うなどの活動を通して、表し方の変化や特徴などをとらえる学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

美術作品から気付いたことなどについて、ある程度理由を付けて考えたり、気持ちを振り返ったりする。

表現する

造形活動や鑑賞活動をしている友人と話し合う。一つの作品に自由に意見を述べ合ったり、作品の前で話し合い活動をする。

交流し、再考する

経験を基に共通点や相違点、表現の工夫などを見付ける。自分の活動を振り返ったり、交流したりすることで自分自身の考えを広げる。

単元における指導例 【題材名】 小さな美じゅつ館「花があるってすてきだね」第4学年

複数の作品を比べて、色や形、構図について違いに気付く。作品について自分なりの思いや考えをもつ。

自分の感じたことについて、友人と話し合う。
作品について感じたことを発表し合う。

友人の発表から自分の考えを振り返ったり、作品の特徴について新たな発見をしたりする。新しい考えを表現活動に生かす。

<目指す姿>

複数の作品を鑑賞して、ある程度理由を明確にして自分なりの考えを話したり、ワークシートに記入しようとしたりする姿。

お互いを認め合いながら、自分の感じたことを進んで話したり、友人の思いを喜んで聞こうとしたりする姿。

友人の考えとの共通点・相違点に気付き、自分の考えに生かそうとする姿。
新しい考えを表現活動に生かそうとする姿。

<十分満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら、自分なりの考えをもつことができる。

<おおむね満足>

色や形、構図について違いに気付くことができる。それらを基に自分なりの考えや意見をもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

つぶやきを聞き逃さず、考えをまとめるヒントとして提示する。

<十分満足>

伝える相手を意識し、理由や根拠を挙げながら、自分なりの考えを発表することができる。

<おおむね満足>

友人の感想を聞きながら、自分なりの考えを発表することができる。

<努力を要する状況の手だて>

作品に印を付けたり、話す順番を考えると表現しやすいことに気付かせる。

<十分満足>

友人の考えを意識しながら、自分なりの新しい考えをもつことができる。

<おおむね満足>

友人の考えとの共通点・相違点に気付き、自分の考えに生かそうとする。

<努力を要する状況の手だて>

それぞれの考えを指で示したり、印を付けたりして、自分の考えを見直す。

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

言語活動の充実
作品などに対する思いや考えを説明し合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

美術作品などを見ることによって、よさや美しさを感じ取る。
そう感じ取った理由や要素を様々な角度から洞察的に考える。

自分の感じたことや作品についての考えを、根拠を明らかにして述べたり批評したりする。
造形に関する言葉を意図的に用いて説明する。

言葉を使って他者と意見を交流することにより、自分一人では気付かなかった価値に気付く。思いをめぐらせながら対象との関係で自分の中に新しい価値をつくる。

単元における指導例 【題材名】 絵本は小さな美術館 第1学年

絵本をみて、イラストレーションのよさや美しさを感じ取る。美しいと感じた理由や要素を既習の事項、知識から考える。

自分の感じたことについて、色や形、構図などについての言葉を意図的に用いて説明する。
美しいと感じた理由を根拠を明らかにして述べる。

友人の説明を聞いて、自分だけでは気付かなかった要素、価値に気付く。新しい価値を表現活動に生かす。

<目指す姿>

これまで学習してきた内容や経験してきた内容から、おもしろい、美しいと感じる理由や要素をより深く考える姿。

絵本の性質を活用した工夫を、造形的な言葉を用いて説明する姿。
伝える相手を意識して、自分の感じたことを述べる姿。

友人の異なる要素、価値を意識し、自分なりの新しい考えを広げる姿。
新しい価値を表現活動に生かす姿。

<十分満足>

既習事項や経験を生かし、イラストレーションのよさや美しさについて自分なりの価値をもつことができる。

<おおむね満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見をもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

色や構図に関するキーワードをもとに、考えるヒントに気付かせる。

<十分満足>

伝える相手に応じて自分の考えを、論理的に表現することができる。

<おおむね満足>

自分の感じたことを、絵本の性質を活用した工夫を指摘して説明することができる。

<努力を要する状況の手だて>

絵本の性質を活用した工夫をカードにして提示する。友人に説明することを意識させる。

<十分満足>

友人の考えのよさや違いを認め、自分の考えを深めることができる。新しい価値を表現に生かすことができる。

<おおむね満足>

友人の考えを意識しながら、自分なりの新しい考えをもつことができる。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えと異なるものを記入させ、自分の考えを見直させる。

教科目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

言語活動の充実

集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

自分やチームに適した課題を見つけ、個人技に取り組んだりチームで練習したりできるように考えをもつ。
チームの作戦を考える。

自分の表したいことを身体表現を交えながら、言語を通して相手に説明する。
どんな動きだったのかを自分自身がイメージ化し、言語によって相手に伝える。

課題を解決するために互いに協力して練習してきたことを振り返り、さらなる課題に生かす。
ルールの変更や次の作戦を考える。

<実践例>

単元における指導例 【単元名】 バasketボール 第5学年

ボールを操作するときの課題を見つけ、自分やチームの課題解決に向けての練習方法について、自分なりの考えをもつ。
チームの作戦を自分なりに考える。

自分やチームの課題解決に向けた練習方法をチーム内で説明する。
自分なりに考えた作戦をチーム内で説明する。

チームの作戦を互いに発表し、効果的な動きについて話し合う。
作戦を修正し、次の活動に生かすことができるよう再考する。

<目指す姿>

正確なボール操作について、理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見をもつ姿。

示範や身体表現などを交えながら、自分なりの考えや意見を説明する姿。

互いの考えや意見を伝え合い、異なる意見も意識しながら自分の考えを広める姿。

<十分満足>

パスをしたりドリブルをしたりする技能についての確かな理由付けをして自分なりの考えや意見をもつ。

<おおむね満足>

パスをしたりドリブルをしたりする技能について自分の経験を基にして考えや意見をもつ。

<努力を要する状況の手だて>

一つ一つの手の動きや足の動きなどに着目させながら、自分なりの考えや意見をもたせる。

<十分満足>

相手のことを意識しながら示範や身体表現などを交え、分かりやすく自分なりの考えや意見を説明する。

<おおむね満足>

相手のことを考え身体表現を交えながら、自分なりの考えや意見を説明する。

<努力を要する状況の手だて>

一つ一つの運動を想起させながら、自分のしたことを順番に説明させる。

<十分満足>

成功した作戦を伝え合い、他のチームのよいところを見つけて自分のチームに生かすことができる。

<おおむね満足>

成功した作戦を伝え合い、他のチームのよいところを見つけて生かすことができる。

<努力を要する状況の手だて>

どんな動きがうまく成功したのかを想起させながら、話し合いに参加させる。

中学校 保健体育

教科目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

言語活動の充実

集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

自分や集団に適した課題を設定し、個人技に取り組んだり集団で練習したりできるよう課題解決に向けた考えをもつ。

互いに補助し合ったり、運動観察を通したりして仲間の課題を指摘する。
学習課題の解決に向けて仲間に助言する。

課題を解決するために互いに協力して練習してきたことを発表する。
さらなる課題解決に向けて、自分の考えをもつ。

単元における指導例【単元名】 ダンス 第2学年

表現したいシーンのイメージを絵や言葉で表してみたり、イメージに合う曲を探してみたりする。
イメージをラインや色を使って画像にしながら考える。

イメージに合った音楽や線画などを手がかりにして、具体化した身体表現を言葉でも説明する。

まとめあげた作品を発表し合い、鑑賞することで互いのよさを認め合う。
自分の内面を見直すことで、新しい課題解決の方策を考える。

<目指す姿>

音楽や絵画、物語など、これまでの経験や知識を生かして、自分なりのイメージを言葉や図形を使って具体化する姿。

個人や集団を意識して、分かりやすい音楽や線画などを用いて、自分なりの思いや考えを説明する姿。

作品を伝え合うことを通して、互いの考えの相違点を認め合い、自分の考えを深める姿。

<十分満足>

音楽や絵画、物語など、これまでの経験や既習事項を想起して、自分なりのイメージを言葉や図形で表す。

<おおむね満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりのイメージを言葉や図形で表す。

<努力を要する状況の手だて>

フォークダンスや日本の踊りを想起させながら、参考となる動きを取り入れ、言葉や図形で表す。

<十分満足>

話す相手に応じて自分なりの思いや考えを論理的に説明する。

<おおむね満足>

内容の構成や伝え方を意識し、自分なりの思いや考えを説明する。

<努力を要する状況の手だて>

線画や単語を意識させながら、説明する。

<十分満足>

作品のよさを見つけ、表現技法や空間の使い方など具体例を挙げながら、自分の考えを相手に伝える。

<おおむね満足>

作品のよさを見つけ、いくつかの例を挙げながら、自分の考えを相手に伝える。

<努力を要する状況の手だて>

作品の一つ一つの動きを想起させながら、自分の考えを相手に伝える。

小学校 家庭科

教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

言語活動の充実

衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

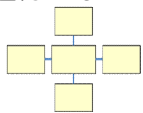
衣食住など生活の中の様々な言葉について実感を伴って理解し考える。
自分の生活における課題を解決のために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考える。

実践的・体験的な学習から感じ取ったことを書いたり話したりするなど様々な表現様式を用いて表現する。
実生活での具体的な事象にあてはめて説明する。

観察や実習の際のレポート作成や考察、思考したことを交流し、自分とは異なる考えに接する中で整理し、考察する。

指導例 【題材名】衣服を整えよう～衣服の手入れ(洗濯)～ 第6学年

洗濯の必要性や疑問点について児童の具体的な生活経験と関連付けながら考える。



ウェビング
(拡散的思考)

汚れた靴下を、水だけで洗った場合、洗濯機で洗った場合、手洗った場合など試し洗いをして、比較し感じたことをワークシートにまとめて書く。

<書く活動>

比較してみて分かったことや考えたことを、グループで発表し合い、洗濯の必要性や適切な仕方が分かり、日常着の手入れに生かすことができる。

<目指す姿>

経験や知識を生かして、洗濯の必要性や仕方について、根拠を基に自分の考えや意見をもつ姿。

学習を通して試行した結果の比較を基に、自分なりの考えや意見を結果に基づいて表現する姿。

比較して分かったことについて、グループでの発表を通して、異なる意見を意識しながら、自分の考えを深める姿。

<十分満足>

いくつかの理由や根拠を挙げながら、洗濯について自分なりの考えや意見をもっている。

<おおむね満足>

理由を明確にして、洗濯について自分なりの思いや考えをもっている。

<努力を要する状況の手だて>

日常生活の振り返りや教科書を参考にしながら、洗濯に関して考えをもたせる。

<十分満足>

結果に基づいて論理的に自分の考えや意見を表現し、ワークシートに書いている。

<おおむね満足>

結果に基づいて、自分なりの考えと理由を書き表している。

<努力を要する状況の手だて>

教科書や結果を基にして考え、理由付けをしながら、自分の考えを表現させる。

<十分満足>

分かったことに関して考えを伝え合い、他の意見を取り入れながら、自分の考えを深めている。

<おおむね満足>

共通点・相違点を考えながら伝え合い、自分の考えを深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の考えをまとめて伝え合い、友達のことを聞いて生かすようにさせる。

中学校 技術・家庭科（技術分野）

教科目標（技術分野の目標）

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

言語活動の充実

ものづくりや生物育成の実習等の結果を整理し考察する学習活動や、学習課題を解決するために言葉や図表などを用いて考えたり、発表したりする学習活動

思考

発信

交流

再考

発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

目的に合わせて、ものづくりの設計や製作工程，生物の育成計画や管理計画等を考える。
目的に合わせた制御を行うためのプログラムを考える。実習等の結果を整理し考察する。

ものづくりの構想を製作図としてまとめる。また，生物育成の計画や結果をまとめる。
プログラムの構造をフローチャートとしてまとめる。
実習等の結果をまとめる。

ものづくりの構想や製作図，生物の育成計画について，課題を解決するための話し合いをする。
実習等のまとめや，技術の適切な評価・活用について話し合いや発表会をする。

指導例【題材名】栽培の育成結果を発表しよう（デジタル作品の設計・制作） 第2学年

育成計画と記録を基に，発表に必要な情報を整理する。
作品の制作に必要なメディア，ソフトウェア，機器と表現方法を考える。また，作品の構造や構成を考える。

発表する作品の構成図を作成する。
文字，音声，静止画，動画など，必要なメディアを利用し，プレゼンテーションソフト等で作品を制作する。

発表会をとおして，育成計画，予想，結果，考察など，発表したい内容を分かりやすく伝えるための課題について話し合う。
また，著作権，肖像権等について考える。

<目指す姿>

理由や根拠を基にデータを整理し，発表会で伝えたい内容や方法について，メディアの特性やソフトウェアの機能を踏まえて考えようとする姿。

論理的に考えて構成図を作成するとともに，複数のメディアやソフトウェアの機能を活用して作品を制作しようとする姿。

発表会や話し合いを通して，共通点や相違点，課題や解決策を主体的に考えるとともに，自分の考えや作品に生かそうとする姿。

<十分満足>

発表に必要な記録を分類，精選し，メディアの特徴とソフトウェアの機能を踏まえて作品の設計を考えることができる。

<おおむね満足>

発表に必要な記録，メディア，ソフトウェアを選択して作品の設計を考えることができる。

<努力を要する状況の手だて>

記録の選び方と，メディアの特徴やソフトウェアの機能を踏まえた設計のポイントを助言する。

<十分満足>

全体構成が分かりやすく，複数のメディアやソフトウェアの機能を効果的に活用した作品の作成ができる。

<おおむね満足>

文字と静止画のバランスを考え，基本的な機能を活用した作品の制作ができる。

<努力を要する状況の手だて>

メディアの扱い方，ソフトウェアの基本機能，表現のポイントについて再指導する。

<十分満足>

メディアの特性やソフトウェアの機能，情報モラルを基に，表現方法の工夫や課題，改善策を考えることができる。

<おおむね満足>

基本的な機能を基に，表現方法の工夫や課題，改善策を考えることができる。

<努力を要する状況の手だて>

抽出した作品を提示し，作品の工夫点と使用した機能について解説する。

中学校 技術・家庭（家庭分野）

教科目標（家庭分野）

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と第度を育てる。

言語活動の充実

衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し、考察する学習活動や生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解し考える。
生活における課題解決のために言葉や図表、概念などを用いて生活をよりよくする方法を考える。

基礎的・基本的な知識や技能を理解し、実生活や実社会での具体的な事象にあてはめて説明する。
実践的・体験的な学習から感じ取ったことを書いたり話したりするなど様々な表現様式を用いて表現する。

衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を自分とは異なる考えに接する中で整理し、考察する。

指導例 【題材名】健康と食生活～中学生の望ましい1日の献立とは～ 第1学年

自分が何をどのくらい食べたのか、ある休日の食事調査を行い、記録した結果を基に、食品を分類し、考える。

マトリクス
(収束的思考)

日常食品の概量を一覧にした資料を基に食べた量を書き出し、表を完成させる。
作成した食事調査の結果を基に、食品群別摂取量の目安と比較し、自分の食事の特徴をワークシートにまとめて書く。

<書く活動>

それぞれの食事の特徴について、グループで意見交換し、改善点をまとめ、中学生の時期の栄養的に望ましい1日の献立について考える。

<目指す姿>

経験や知識を生かして、食品を栄養的に分類し、根拠をもとに自分の栄養の特徴について考えや意見をもつ姿。

<十分満足>

理由や根拠を挙げながら、自分の栄養の特徴について、自分なりの意見や考えをもっている。

<おおむね満足>

理由を明確にして、自分なりの思いや考えをもって自分の栄養の特徴を考えている。

<努力を要する状況の手だて>

課題の理解とともに、教科書を参考にして、自分の調査結果から栄養を関連して考えさせる。

作成した食事調査の結果を基に、食品群別摂取量の目安と比較した自分の食事の特徴について論理的に表現する姿。

<十分満足>

根拠を基に論理的に自分の栄養の特徴に関する意見や考えを表現し、ワークシートに書いている。

<おおむね満足>

書き方を工夫し、自分なりの考えと理由を書き表している。

<努力を要する状況の手だて>

教科書や表を基に考え、相手に伝わるよう順序よく理由付けて、自分の考えを表現させる。

各自の食事の特徴についてグループでの伝え合いを通して、自他の考えの違いやよさを認め合い自分の考えを深める姿。

<十分満足>

食事の特徴に関する互いの考えや意見を的確にとらえ、自分の考えや意見を深めている。

<おおむね満足>

共通点・相違点を考えながら伝え合い自分の考えを深めている。

<努力を要する状況の手だて>

自分の特徴について、伝え合う工夫や友達のよいところを見つけて生かすようにさせる。

小・中学校 道徳

道徳の時間の目標（中学校）

道徳教育の目標に基づき、各教科、総合的な学習の時間に及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。

言語活動の充実

自分の考えを基に、書いたり討論したりするなどの表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるようにする学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

言語情報としての資料から、登場人物の気持ちや行為の動機などを考える。

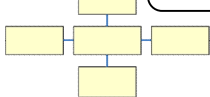
表現する活動を通して、自分自身のものの見方や考え方・感じ方などを整理し、言語化する。

他者の考えに触れることで、自分の考えとの同じ面や違う面などを認識する。
自己や他者と対話しながら再び言語化することで振り返ったり、自らの価値観を見つめ直したりする。

中学校指導例【主題名】友情とは～「友達とは・・・」内容項目 2-(3)友情 第1学年

友達とは何だろうか。キーワード「友達」から放射状（ウェビング的）に自分の考えを書く。

マインドマップ
（拡散的思考）



資料を読み、最後に友達に伝えなかったことを考えて手紙にして書く。

・書く活動
＜ロールレタリング＞

手紙を回収し、シャッフルして配布する。

届いた手紙を読んで、返事を書く。

手紙と返事を発表し合い、改めて友達とは何か考える。

<目指す姿>

「友達」についていくつかの理由や根拠を基に自分なりの考えや意見をもちながら書いている姿。

手紙の内容の構成や伝え方を意識し、自分なりの考えや意見を手紙の中に表現している姿。

手紙を通して自分の考えを伝え合い、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深めようとする姿。

小学校 総合的な学習の時間

目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

言語活動の充実

問題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

課題を解決する視点を持ち、集めた情報を整理しながら、分析を行う。(整理・分析)

情報の分析から、自らの考えを導き出す。(まとめ・表現)

表現する

課題を解決する視点で、分析したことを話したり、確認したりする。(整理・分析)

分析したことを、文章に書き表したり、口頭で報告したりする。(まとめ・表現)

交流し、再考する

異なる視点からの意見交換を行い、互いの考えを深める。(整理・分析)

互いの発表を聞き合い、アドバイスし合って、学習の成果を改善する。(まとめ・表現)

単元における指導例【単元名】 ○○川と私たちの生活 第5学年

川の水質調査や地域の人や専門家の方から得た情報を整理し、設定した課題や目的に照らして分析する。

(例) 水生生物の分布の様子を地図上に整理したり、水質の変化をグラフ化したりする。

調査やインタビュー等で得た情報の分析から、設定した課題についての自らの考えをもつとともに、自分の生活や地域の自然について考える。

グループ等で、それぞれが得た様々な情報やそれを基に分析した内容や感じたことを伝えたり、話したりする。

分析したことを文章やレポートに書き表したり、目的に応じてプレゼンテーションやポスターセッション等、多様な形式を用いて口頭で報告したりする。また、探究を通して分かったことを、絵画や音楽演劇などで表現する。

例えば、「川の汚れと私たちの生活にはどんな関係があるか」という課題について、異なる視点からの意見交換を行い、その因果関係について協同して考えを深める。

互いに学習の成果を発表し、よい質問やアドバイスをし合いながら「地域の自然と自分たちの生活」について、互いの学習内容を共有したり、相互に関係付けたりする。

<目指す姿>

課題や目的に照らして情報を整理・分析し、自分の考えをもつとともに、自分の生活と結び付けて考える姿。

分析したことについて、伝える相手を意識するとともに、目的を明確にして説明したり、発表したりする姿。

異なる視点や考えを認め合いながら意見交換をしたり、互いの発表を通して理解を広げたりして、考えを深める姿。

中学校 総合的な学習の時間

目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

言語活動の充実

問題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

課題を解決する視点を持ち、集めた情報を整理しながら、分析を行う。(整理・分析)

情報の分析から、自らの考えを導き出す。(まとめ・表現)

表現する

課題を解決する視点で、分析したことを話したり、確認したりする。(整理・分析)

分析したことを、論理的にレポートにまとめたり、発表したりする。(まとめ・表現)

交流し、再考する

互いの考えや意見を取り入れながら、情報を多面的・多角的な視点で分析し検討する。(整理・分析)

それぞれの発表を通し、意見交換を行い、自己の考えを深める。(まとめ・表現)

単元における指導例【単元名】働くことと自己の生き方を考える 第2学年

職場体験を通して感じたことやインタビュー等で得た情報を整理し、設定した課題や目的に照らして分析する。

(例)働く人の職業観等を比較・分類する。【KJ法・共通点や相違点の整理等】

職場体験等で得た情報の分析から、設定した課題についての自らの考えをもつとともに、学ぶ意味や自分の将来や生き方について考える。

グループ等で、それぞれが職場体験を通して手に入れた様々な情報やそれを基に分析した内容や思考の過程を話したり、確認したりする。

分析したことを論理的な文章やレポートに書き表したり、スピーチで説明したりする。また目的に応じてプレゼンテーションやポスターセッション等、多様な形式で報告したり、発表したりする。

例えば「働く人が大切にしていることは何か」に関する情報について異なる視点から分析したり、異なる考え方を出し合ったりするなど、協同して考えを深める。

それぞれの学習の成果を発表し合い、「働くこと」についての自分の考えと他の人の考えを比較したり、互いの学習内容を共有したり、相互に関係付けたりする。

<目指す姿>

課題や目的に照らして情報を整理・分析し、自分の考えをもつとともに、自己の生き方と結び付けて考える姿。

分析したことについて、伝える相手を意識するとともに、目的を明確にして論理的に説明したり、発表したりする姿。

異なる視点や考えを認め合い、情報を多面的・多角的に分析したり、互いの発表を通して理解を広げたりして、考えを深める姿。

小・中学校 特別活動

目 標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

言語活動の充実

よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動
体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの学習活動

思考 発信 交流 再考 発信

考えをもつ

表現する

交流し、再考する

日常生活の中から、問題点を見つけ、集団の向上に向けた対応策を考える。
自然体験や社会体験などの体験活動を通して、学んだこと、気付いたこと、心に残ったことなどを振り返る。

結論とその理由を明確にしなが
ら、相手の立場に立って発表
する。
活動内容を新聞や冊子などに
まとめたり、それらを用いて、
発表会でプレゼンテーションを
行ったりする。

集団の向上を目指して、他者
の考えと自分の考えを比較し、
折り合いを付ける。
よりよい生活を築くための
具体的な方策を判断する。
発表を聞いて新たな思いを
もち、実践意欲を高める。

指導例【議題名】言葉遣いを見直そう 小学校第6学年

ロールプレイやアンケートの
集計結果から、何気ない行動や
言葉遣いの問題点について、自
分の考えをもつ。
集団討議を通して、言葉の受
け取り方は、自他で異なること
があることを知り、不快な思い
をさせない言葉遣いを考える。

自分の考えた言葉遣いが他者
に伝わるように、結論と根拠を
明確にして説明する。
他者との意見が異なるとき、
両者の考えを比較・分析し、説
得する工夫をして伝える。

他者の考えを聞き、自分の考
えとの共通点や相違点を比較
し、よりよい方策を考え出した
り、まとめたりして、折り合い
を付ける工夫をする。
実践の意義を理解し、集団討
議での決定事項を再認識し、今
後の実践を具体化する。

<目指す姿>

よりよい生活や人間関係の構
築に向けて、主体的に考えたり、
情報を収集したりして、課題に
対する自分の考えをもつ姿。

自分の考えが他者に伝わるよ
うに、結論と根拠を明確にし、
他者の立場や考えとの関連を図
りながら説明する姿。

よりよい生活や人間関係の構
築に向けて、自他の考えを比較
し、よりよい考えをまとめ、伝
え合い、折り合いを付ける姿。